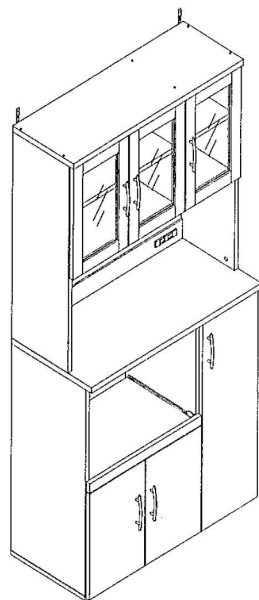


レンジ食器棚

NPST-1890



取扱・組立説明書

w-kc547 ver. 4

MADE IN CHINA

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みの上、正しい使い方でご愛用下さい。
なお、この説明書はいつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。



使用上の注意

- 本品は屋内用です。
- 移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから引きずらないよう持ち上げて移動して下さい。収納物や商品の転倒、破損ケガの原因になります。
- 必ず水平で安定した場所に設置して下さい。
- ストープのそば等、高温多湿の場所での使用は避けて下さい。変形や変色の原因になります。
- 水分、油、洗剤等が付着した場合は、素早くふき取って下さい。
- 粘着物をはりつけると、棚板の表面がはがれる恐れがありますので、テープやシール等は貼らないで下さい。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理、改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ダンボール箱からの取り出しや組立は、2人以上で行って下さい。

点検・お手入れについて

- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭きとって下さい。水分等が残りますと痕が残る恐れがあります。アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないで下さい。
- ネジ類は、その取り付けが確実かどうか、定期的に点検して下さい。

製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、
ご遠慮なく右記までご連絡下さい。

株式会社 ホームテイスト
〒658-0015 神戸市東灘区本山南町8-6-26 東神戸センタービル13F
TEL (078)413-3787 / FAX (078)413-3788

組立て前に必ずよくお読み下さい。

● ご準備頂くもの

- ・プラス(+)ドライバー
- ・はさみ、またはカッターナイフ
- ・少し大きめのダンボール、またはやわらかい布(タオルや布団等)

※ 組み立て時の注意

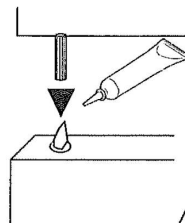
- ・安全に組み立てるために2人以上での組立をお勧めします。
- ・組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないようにダンボールや柔らかい布等を敷いて行ってください。
- ・最初はゆるめに組んでおき、最後に全体のバランスを見ながらしっかりとネジを締めてください。
- ・部品は正確に取り付けてください。

● 次の部品や小物を使用する場合は、必ず下記の要領を守って正しく組立て下さい。

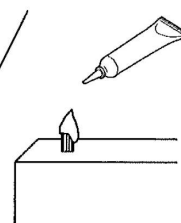
① ボンド・ダボ(接着について)



このボンドマークがあるところでは、下記のようにボンドを使用します。

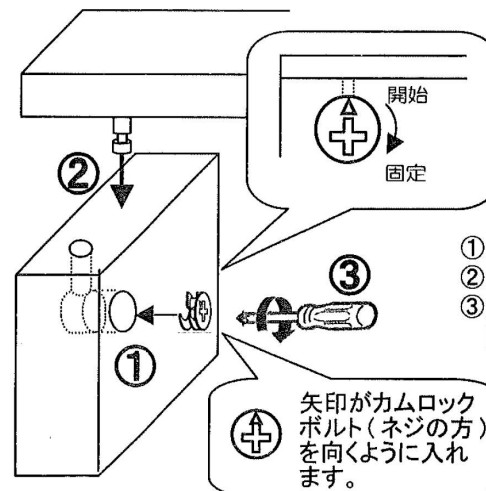


・ダボ穴にボンドを垂らし、
ダボをその上から差し込む。



・ダボに直接ボンドを垂らし、
穴の部分をかぶせて取り付ける。

カムロック受け・固定方法



- ①カムロックボルト(受け)を穴に入れます。
- ②カムロックネジを、受けの方に入れます。
- ③カムロックネジをドライバーで135°~180°
回してください。

矢印がカムロック
ボルト(ネジの方)
を向くように入れ
ます。

※カムロックはその取り付けが確実かどうか
定期的に点検して下さい。

部品明細

①上段用左側板x1	②上段用右側板x1	③上段用天板x1	④上段用固定板x1	⑤上段用上補強板x1	⑥上段用下補強板x1	⑦上段用左背板x1	⑧上段用右背板x1
						 ※後側にテープが貼ってあり 畳んで入っております。	
⑨上段用下背板x1	⑩上段用可動棚(大)x1	⑪上段用可動棚(小)x1	⑫上段用仕切り板x1	⑬ガラス扉x3	⑭下段用左側板x1	⑮下段用右側板x1	⑯下段用仕切り板x1
⑰下段用天板x1	⑱下段用地板x1	⑲下段用固定板x1	⑳下段用左上背板x1	㉑下段用左下背板x1	㉒下段用右背板x1	㉓扉板(大)x1	
				 ※後側にテープが貼ってあり 畳んで入っております。			

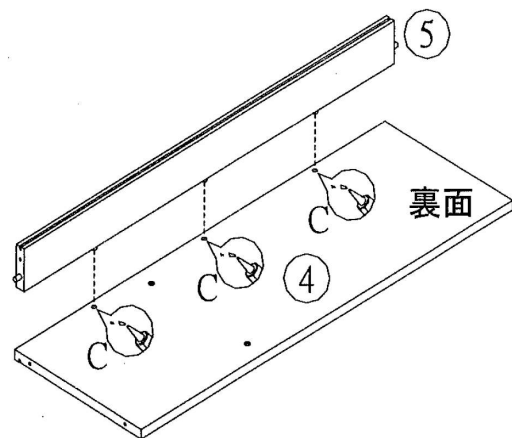
W-KC547

部品明細

②④扉板(小)x2	②⑤下段用補強板x1	②⑥下段用可動棚(大)x1	②⑦下段用可動棚(小)x1	②⑧スライドトレーx1	②⑨前飾り板x1
A:ネジ x27	B:戸当りシール x12	C:ボンド x2	D:カムロックセット x3	E:棚ダボ x16	F:取っ手 x6
 5.5x45KA	 ※透明の丸いゴムシールです。 戸当たりシールは、お好みにより、扉を閉じた際に本体と触れ合う部分に貼り、扉の開閉時の防音にお役立て下さい。		 カムロックネジ×3 カムロック受け×3		 専用ネジ×12 ×6
G:連結用木ダボ x2	H:扉受け x1	I:ドアヒンジ x12	J:転倒防止用プレート x2	K:ネジ隠しシール x13	L:背板ストッパー x16
	 専用ネジ×2 3.5x16KA	 ×12 専用ネジ×48 3.5x16KA	 ×2 専用ネジ×4 3.5x16KA		 ×16 専用ネジ×16 3.5x16KA

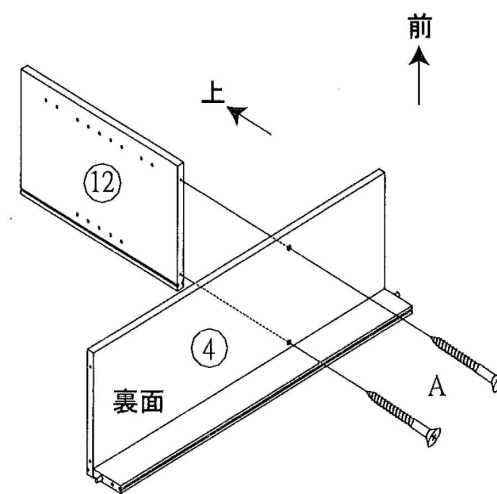
1

④上段用固定板の裏面に、⑤上段用上補強板をC:ボンドを使って取り付けます。



2

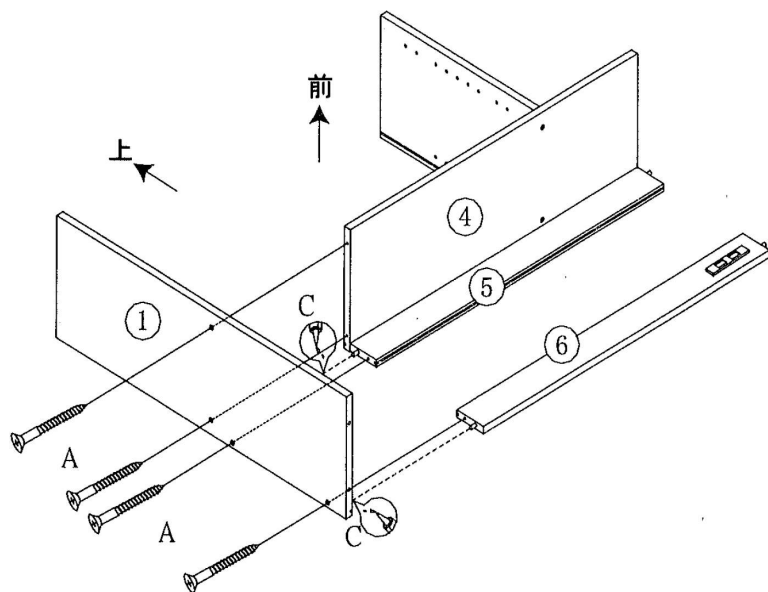
⑫上段用仕切り板にA:ネジを使って取り付けます。



※④上段用固定板の向きにご注意ください。

3

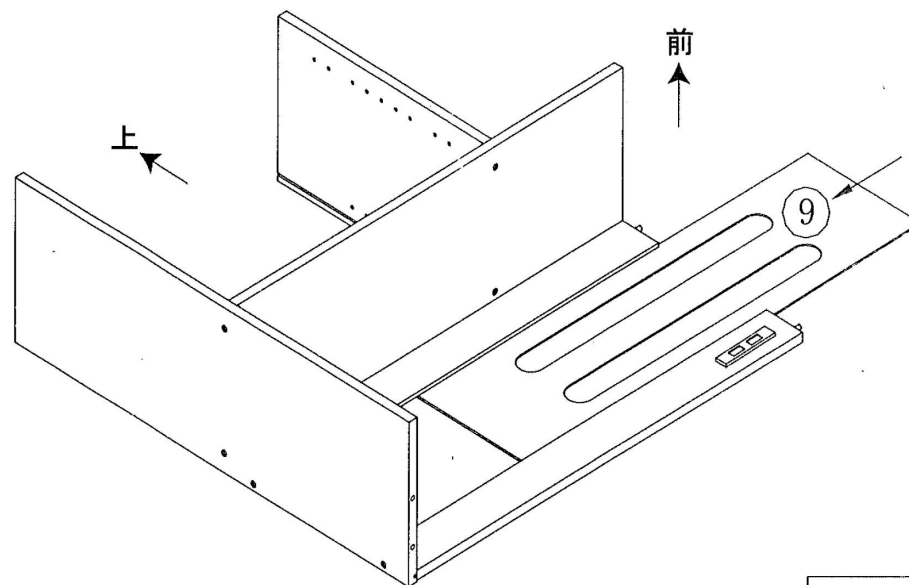
①上段用左側板に、STEP2で組み立てた部品をA:ネジとC:ボンドを使って取り付けます。さらに、⑥上段用下補強板をA:ネジを使って取り付けます。



* この工程は2人以上で行うことをおすすめします。

4

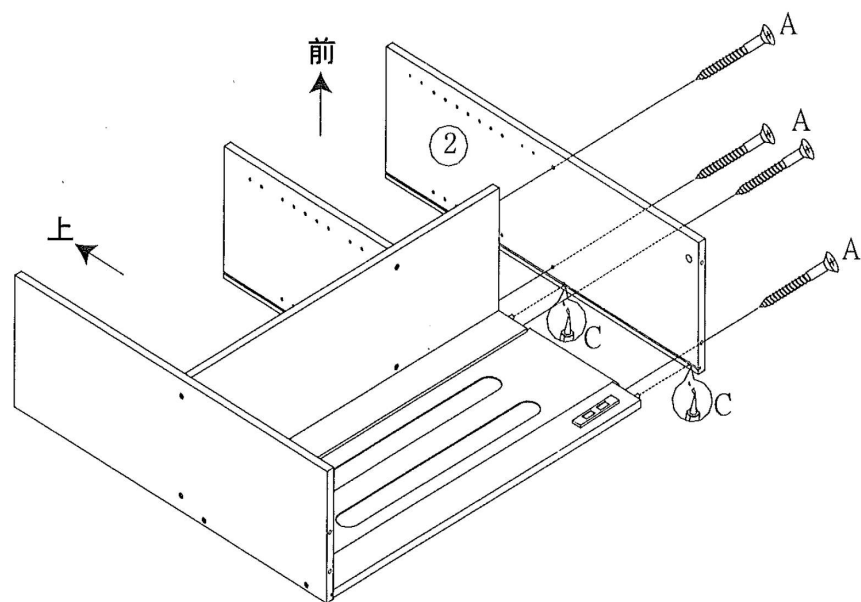
⑨上段用下背板を本体に差し込みます。



W-KC547

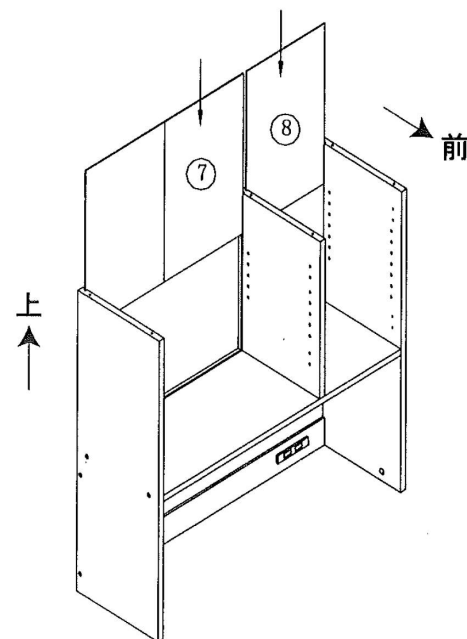
5

反対側から、②上段用右側板をA:ネジとC:ボンドを使って取り付けます。
その際、背板がしっかりと溝の奥まで入っていることをご確認ください。



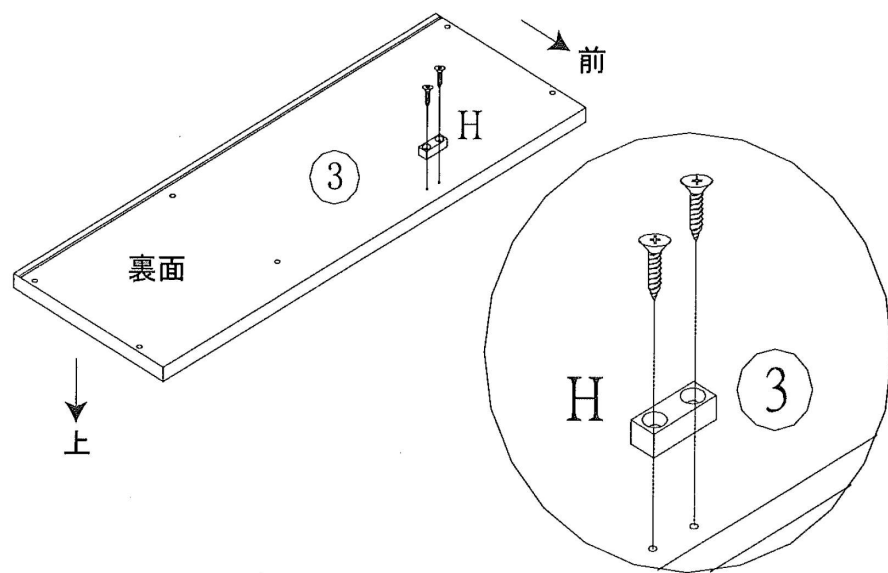
6

本体を静かに起こし、⑦上段用左背板を開いて差し込み、続いて⑧上段用右背板を差し込みます。



7

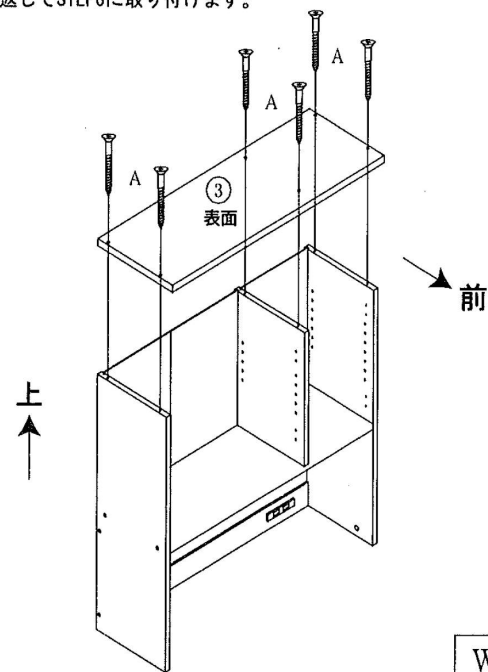
③上段用天板の裏面に、H:扉受けを専用ネジを使って取り付けます。



8

A:ネジを使って、③上段用天板を裏返してSTEP6に取り付けます。

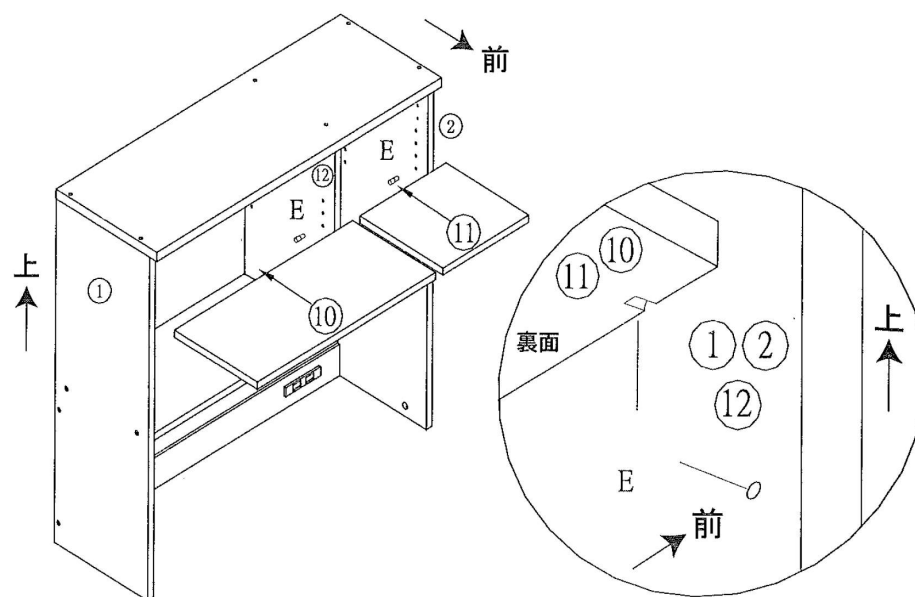
※本体と天板に隙間があく場合は、
背板が上下の溝の奥までしっかりと
入っているかをご確認下さい。



W-KC547

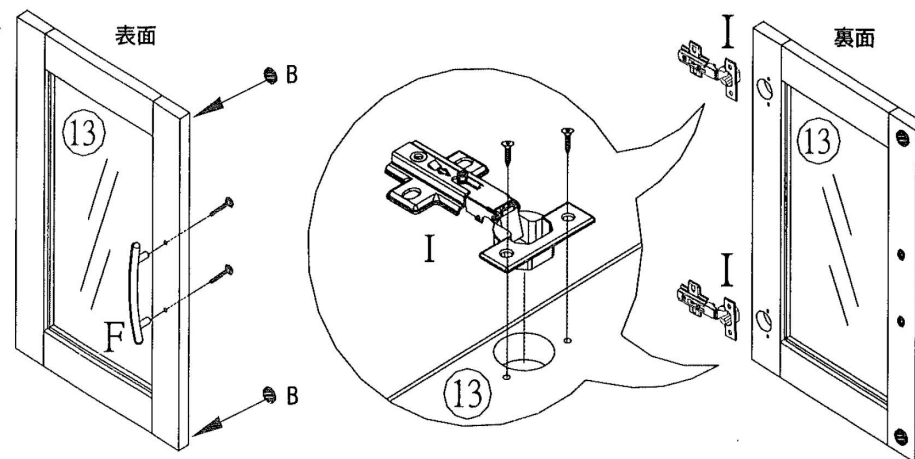
9

STEP8の①上段用左側板、②上段用右側板、⑫上段用仕切り板のお好みの高さに、E:棚ダボを専用ネジで取り付けます。(各棚・前後左右4か所に取り付けてください。) 続いて、⑩上段用可動棚(大)と⑪上段用可動棚(小)を取り付けます。



10

各⑬ガラス扉にF:取っ手を専用ネジを使って取り付け、裏面の上下端にB:戸当りシールを貼ります。裏面にI:ドアヒンジを専用ネジで取り付けます。

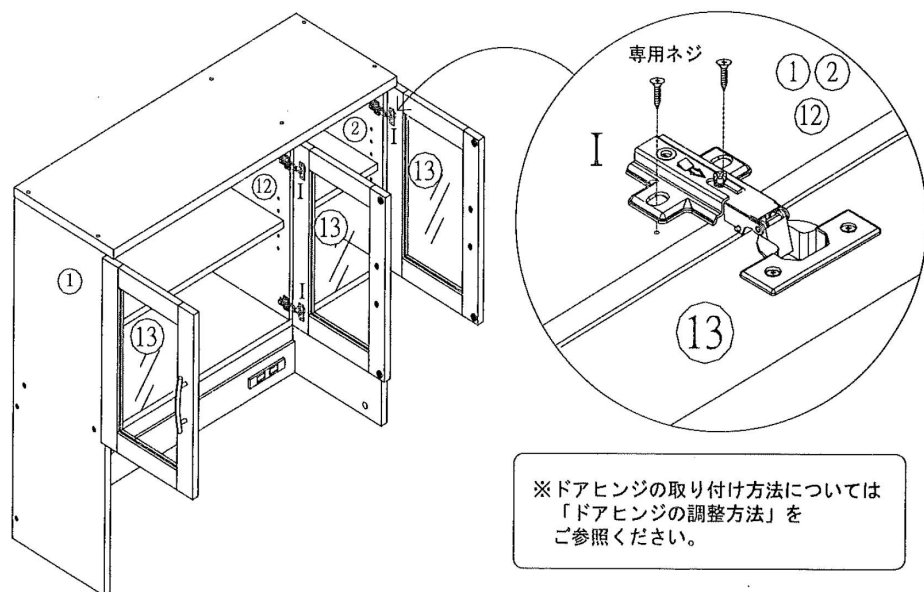


※扉を閉じた際に本体と触れ合う部分に お好みで戸当りシールを貼り、 扉の開閉時の防音にお役立てください。

※ドアヒンジの取り付け方法については 「ドアヒンジの調整方法」 を ご参照ください。

11

⑬ガラス扉に取り付けたI:ドアヒンジを専用ネジで本体に取り付けます。

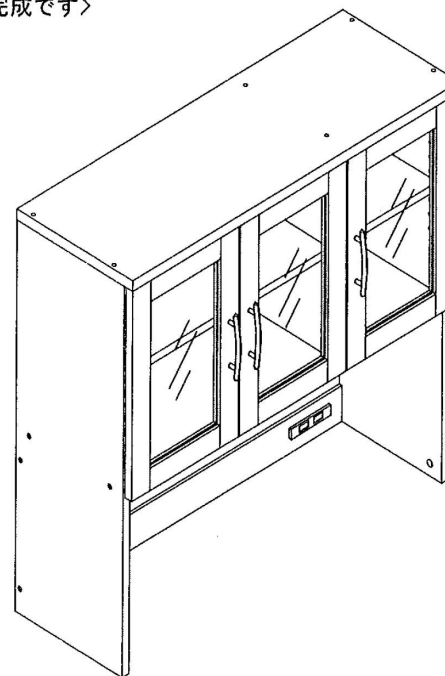


※ドアヒンジの取り付け方法については 「ドアヒンジの調整方法」 を ご参照ください。

* この工程は2人以上で行うことをおすすめします。

12

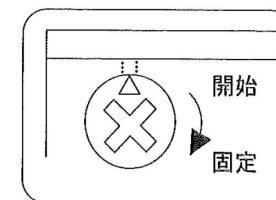
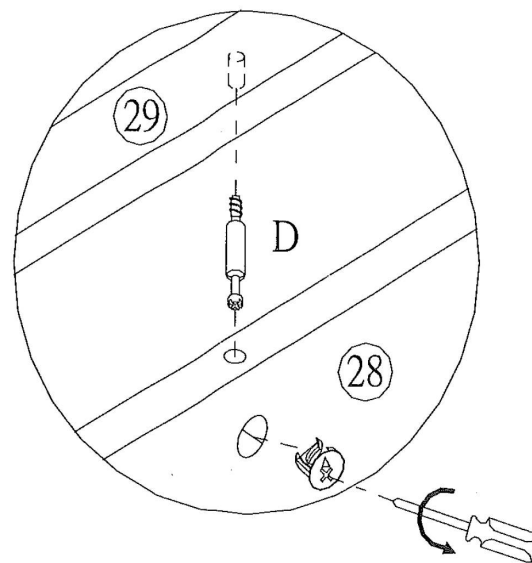
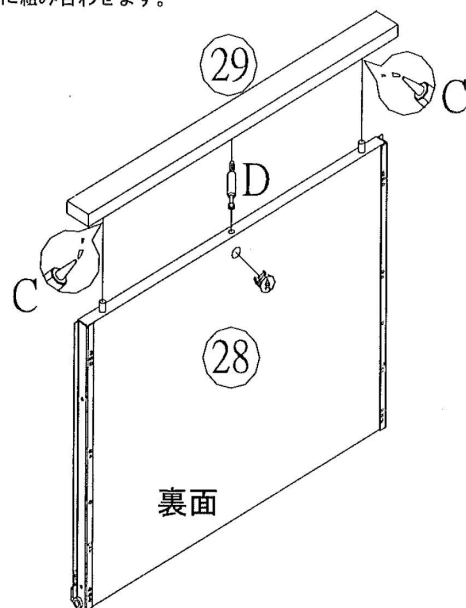
<本体の上半分が完成です>



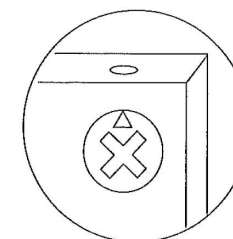
W-KC547

13 <続いて、本体の下半分を組み立てます>

- ②⑨前飾り板の裏面に、D:カムロックネジを取り付け、C:ボンドとカムロックを使って
- ②⑩スライドトレイに組み合わせます。

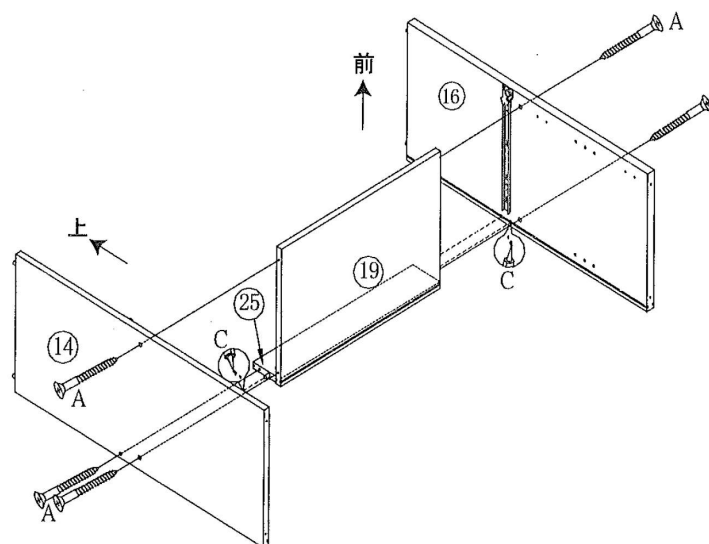


カムロックの詳しい取り付け方は表紙をご覧ください。



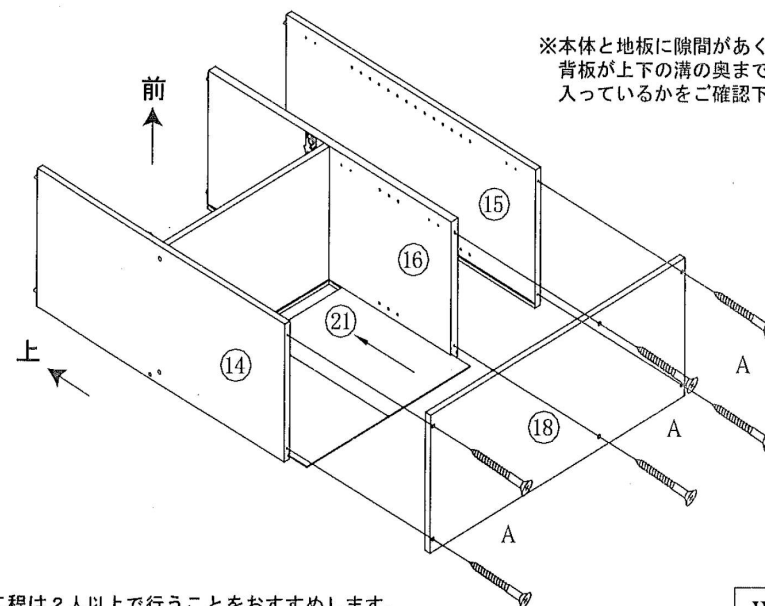
三角形の目印が開いている向きに来るように、奥までしっかりと取り付けます。

14 ②⑤下段用補強板と②⑨下段用固定板を、A:ネジとC:ボンドを使って、②⑭下段用左側板と②⑯下段用仕切り板に取り付けます。



*この工程は2人以上で行うことをおすすめします。

15 STEP14で組み立てた本体に、②⑮下段用左下背板を差込み、②⑰下段用地板をA:ネジを使って取り付けます。同時に②⑱下段用右側板も、A:ネジを使って取り付けます。



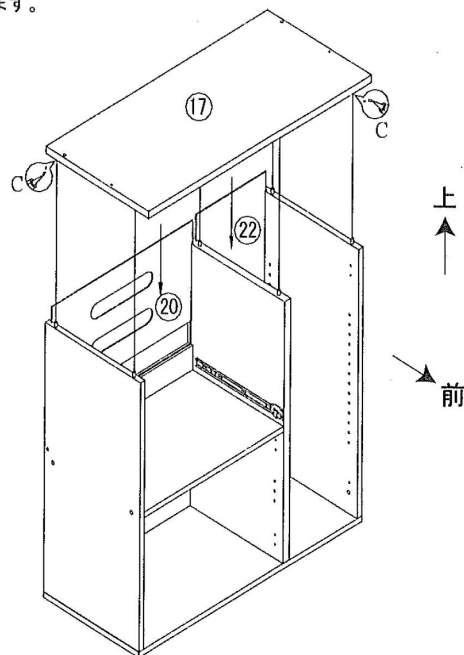
※本体と地板に隙間があく場合は、背板が上下の溝の奥までしっかりと入っているかをご確認ください。

*この工程は2人以上で行うことをおすすめします。

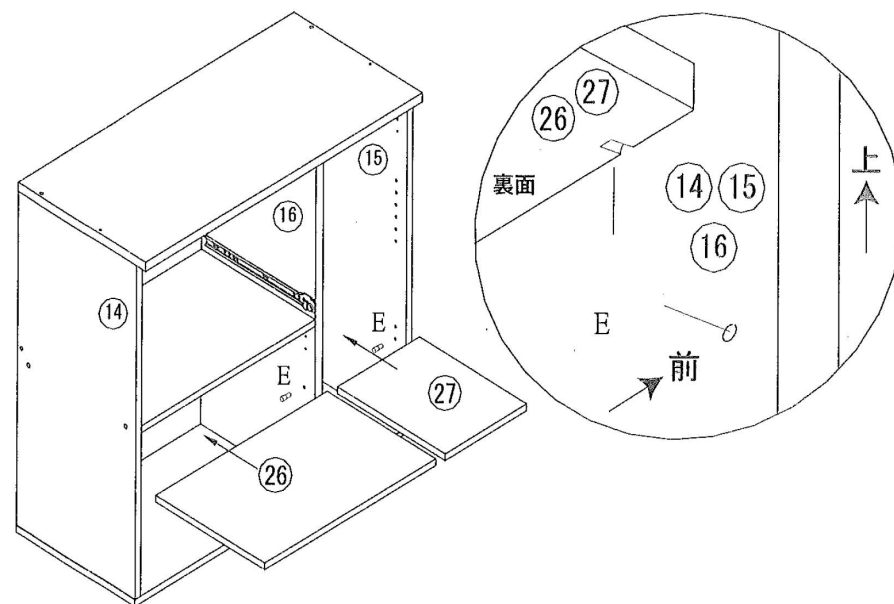
W-KC547

- 16 本体を静かに起こし、⑳下段用左上背板と㉑下段用右背板を本体に差込み、
㉒下段用天板をC:ボンドを使って取り付けます。

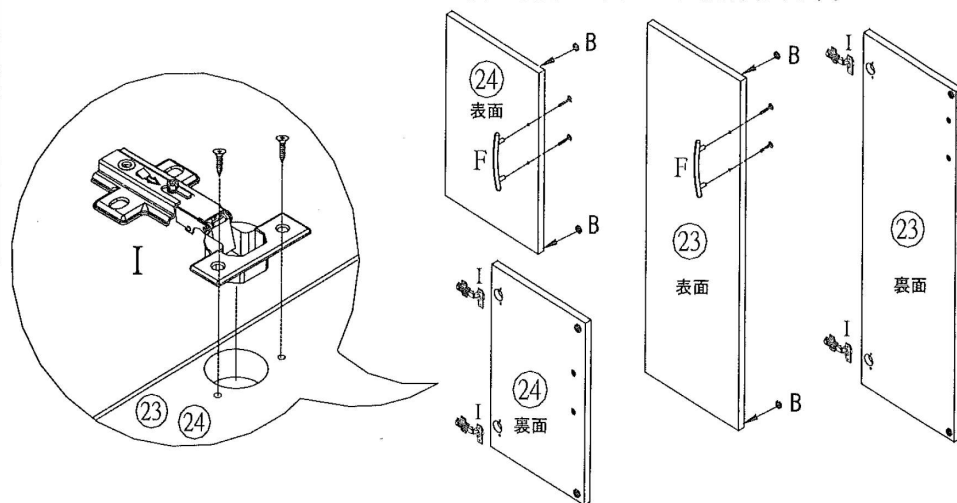
※本体と天板に隙間があく場合は、
背板が上下の溝の奥までしっかりと
入っているかをご確認ください。



- 17 本体の㉓下段用左側板と㉔下段用右側板、㉕下段用仕切り板に、
E:棚ダボを専用ネジでお好みの高さで取り付けます。(各棚・前後左右4か所に取り付けてください。)
続いて、㉖下段用可動棚(大)と㉗下段用可動棚(小)を取り付けます。



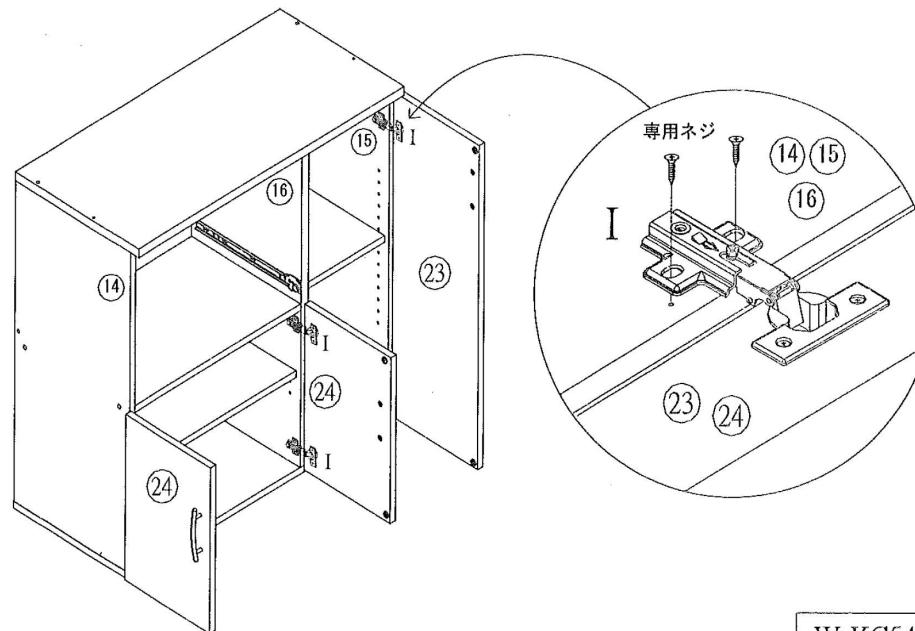
- 18 ㉚扉板(大)と㉛扉板(小)2枚に、F:取っ手を専用ネジを使って取り付け、
裏面の上下端にB:戸当りシールを貼ります。各扉板の裏面にI:ドアヒンジを取り付けます。



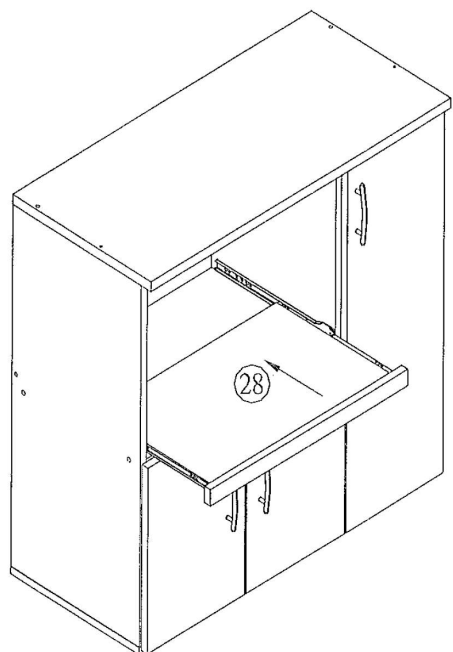
※扉を閉じた際に本体と触れ合う部分に
お好みで戸当りシールを貼り、
扉の開閉時の防音にお役立てください。

※ドアヒンジの取り付け方法については
「ドアヒンジの調整方法」を
ご参照ください。

- 19 ㉚扉板(大)と㉛扉板(小)に取り付けたI:ドアヒンジを専用ネジで本体に取り付けます。



20 STEP13で組み立てたスライドトレイを取り付けて、本体の下半分が完成です。

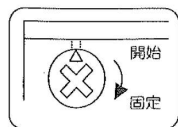
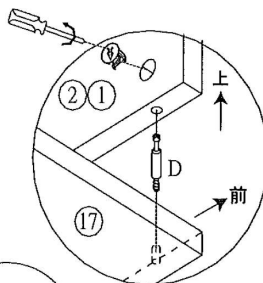


21 <最後に、本体の上半分と下半分を重ねます。>

最初に⑰下段用天板にG:連結用木ダボをC:ボンドを使って取り付けます。
同時にD:カムロックネジを取り付けます。

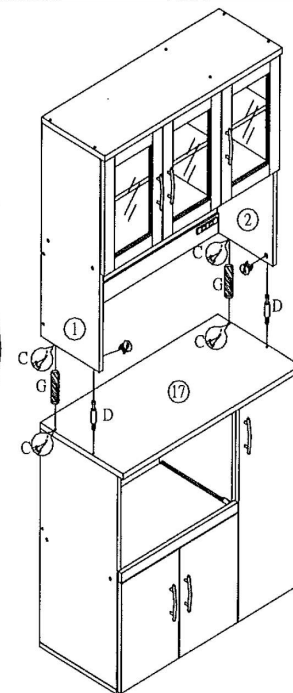
次に本体の上半分、①上段用左側板と②上段用右側板の内側に
D:カムロック受けをはめ込みます。

下半分に取り付けた、
G:連結用木ダボにC:ボンドを使って、
本体の上半分と下半分を組み合わせます。

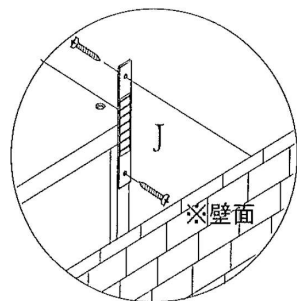
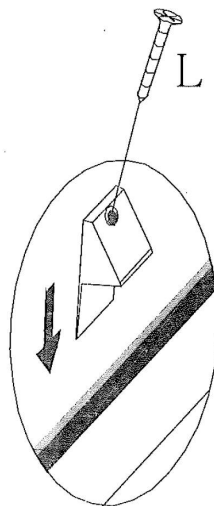


カムロックの詳しい取り付け方は 三角形の目印が開いている向きに来るように、
別紙をご覧ください。 奥までしっかりと取り付けます。

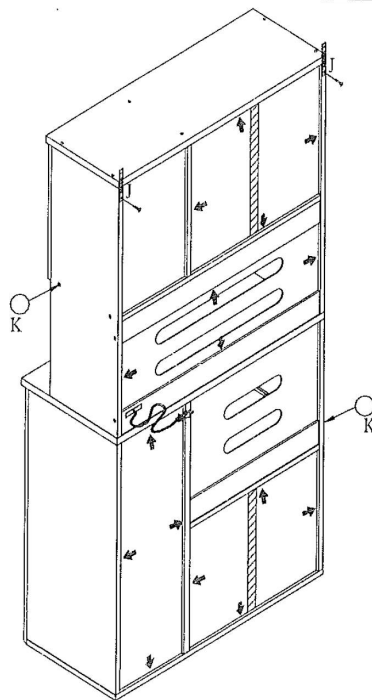
※この工程は、必ず大人の方が2名以上で行って下さい。



22 背面にL:背板ストッパーを図の矢印の位置に取り付け、
ネジ穴部分にK:ネジ隠しシールを貼り付けます。

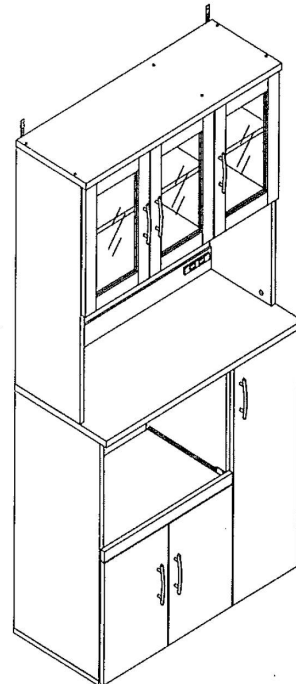


壁際に設置する際は、
転倒防止にJ:転倒防止用プレートを本体と
壁面に図のように取り付けてください。
※壁用のネジは、壁の材質に合った
ものをご利用ください。



※背面の隙間に差込み、
専用ネジで固定します。

<完成です。お疲れ様でした！>



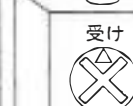
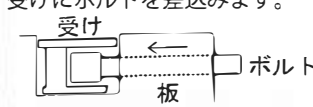
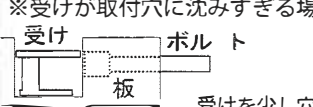
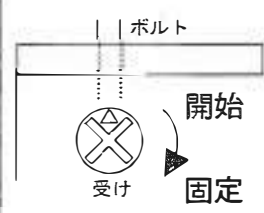
W-KC547

※必ず、組立前にご確認ください。

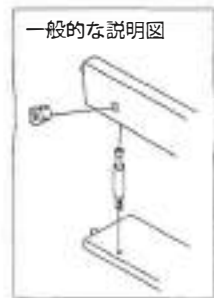
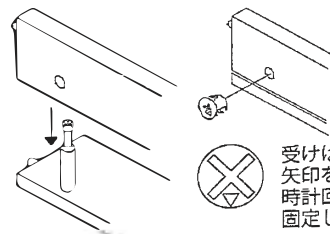
カムロックの取付について、簡単な手順をご紹介します。

- カムロックを使用する商品は、個体差により組立の手順通りだと取り付けにくい場合がございます。
作業前に下記の注意事項をご確認ください。
- 個体により、受けを先に取付た状態だと受けが取付穴に沈みすぎ、ボルトの挿入が難しい場合がございます。
このような場合は、受けを取付穴最奥から少し浮かせることで、ボルトの挿入がし易くなります。

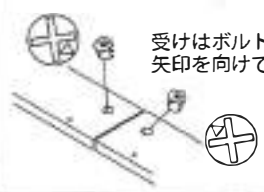
カムロックの基本

カムロックのパーツ	受けの取付向き	受けにボルトを差込む	締め方
カムロックには「ボルト」と「受け」の2種類のパーツが存在します。 	カムロック受けは、三角の目印が穴の開いている向き(ボルト側)に来るように取り付けます。  ※受けには矢印の他にアルファベットなどが刻印されているものがありますので、ご注意ください。	受けにボルトを差込みます。  ※受けが取付穴に沈みすぎる場合※  受けを少し穴の底から浮かせた状態でボルトを差込みます。	カムロック受けを時計回りに締め付け、しっかり固定します。 

ネジタイプのカムロックについて

「ボルト」の片側がネジになっているカムロックの取付手順を説明します。		1.ボルトを板に取付ます	2.受けを取付、固定します
 		※ネジの締め具合に注意※ ネジ部が丁度隠れる程度が適当です。 受けの取付が難しい際は見直してください。  ※締めすぎたり、緩る過ると次の工程が困難になる場合がございます。	接続する板をボルトを取り付けた板と組み合わせ、次にカムロック受けを矢印の向きに注意して取り付け、固定します。  受けはボルトの向きに矢印を向けて取り付け、時計回りに締め付け固定します。

双頭カムロックについて

「受け」を2つ使用するカムロックの取付手順を説明します。		1.ボルトを板に取付ます	2.受けを取付ます
 		接続する2枚の板に図の様にボルトを差し込みます。  ※ボルト挿入後、受けの取付穴をのぞき、ボルトが左右均等に入っているかご確認ください。 均等でない場合は調節してください。	次にカムロック受けを矢印の向きに注意して取り付けます。  受けはボルトの向きに矢印を向けて取り付けます。

3.カムロックを固定します。

片方を先に締めきってしまうと、反対側のボルトの頭がカムロック受けに上手く咬み合わない場合があります。
必ず両側が噛み合っている事を確認しながら左右交互に締めて下さい。



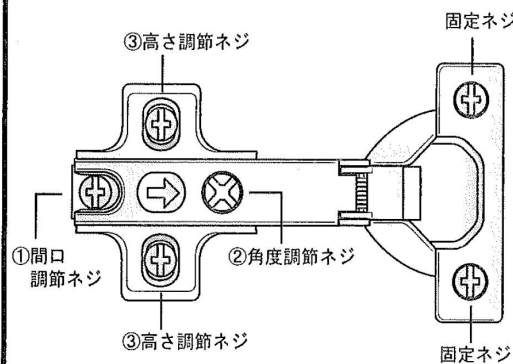
◆ ドアヒンジの調整方法

本体と扉をヒンジで取り付け際に、扉が傾いたりずれていたりする場合は、ヒンジについている各種ネジを調整することで、扉を美しく取り付けられます。調整するのが「間口調節ネジ」「角度調節ネジ」「高さ調節ネジ」の3箇所です。この3箇所を調整し、キレイに扉を取り付けられるコツをご紹介します。

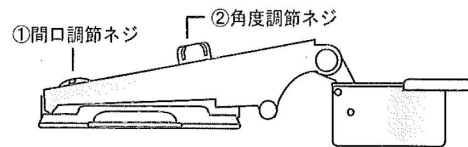
■ ヒンジの詳細

ヒンジの各部位を紹介いたします。主に調整するのが

①「間口調節ネジ」②「角度調節ネジ」③「高さ調節ネジ」の3箇所です。



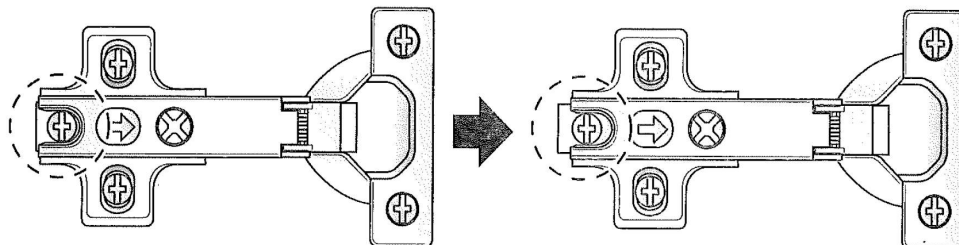
ヒンジ：上面図



ヒンジ：側面図

① 間口調節ネジ…扉同士の隙間を調節します。

まずは「間口調節ネジ」からご説明いたします。「間口調節ネジ」は扉と本体の間隔を調節する部分です。ヒンジを扉に取り付ける前に、事前に「間口調節ネジ」をゆるめて、スライド部分を約3mmほど出してネジを締めます。このスライド部分の出ている幅が広ければ広いほど扉と本体の間隔が広がり、逆に扉と扉の間隔が狭くなってしまいます。



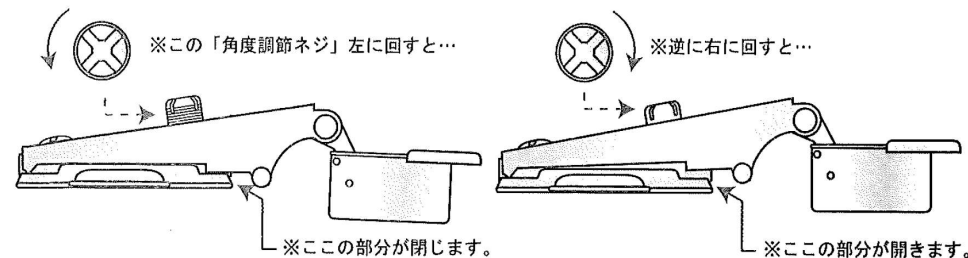
出す前

出した後

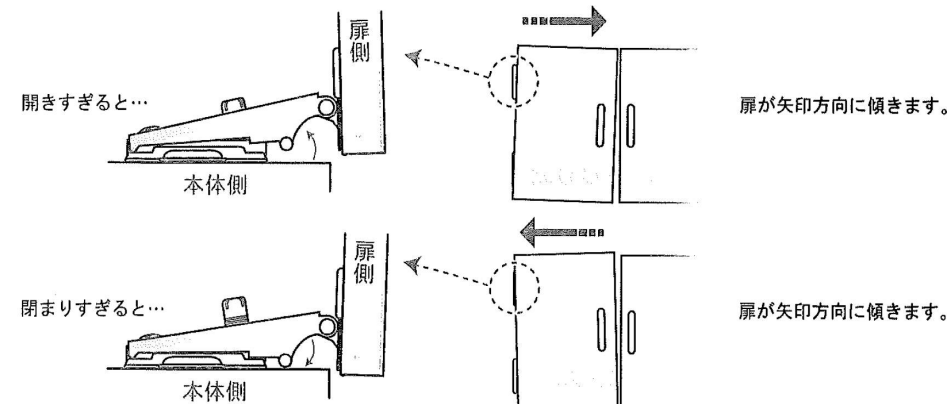
扉を本体に取り付けた後、扉を開閉してみて扉と本体の間隔、扉同士の間隔をご確認ください。先ほど出した約3mmが丁度いい間隔の目安になりますが、もし開閉の際、扉の端が本体に当たったり、扉同士がぶつかったりするようでしたら、再度「間口調節ネジ」を緩めて微調整してください。

② 角度調節ネジ…扉の角度を調節します。

続けて「角度調節ネジ」をご説明いたします。「角度調節ネジ」は扉の角度を調節する部分です。



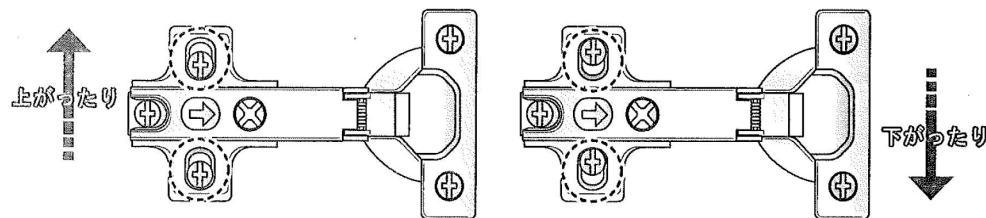
つまり、この角度調整ネジを回すことで扉の角度を調整できるわけですが…



ヒンジは通常上下2つで1セットなので、「角度調節ネジ」を回すときは、上下のヒンジを合わせる必要があります。片方だけ角度が違えば扉の傾きの原因になりますので、扉の傾きが気になる時は、ネジの回転数(1回転、2回転…)を上下であわせて、ヒンジの角度を同じにしてあげる事で、扉をまっすぐ取り付けすることができます。

③ 高さ調節ネジ…扉の高さを調節します。

最後に「高さ調節ネジ」をご説明いたします。「高さ調節ネジ」は扉自体の上下の位置を調節する部分です。



左右の扉の高さが違う場合は、この「高さ調節ネジ」を少し緩めて扉の上下の位置を調整し、丁度いい高さのところで改めてネジを締め付けて下さい。

以上のことをふまえて調整することで、キレイに扉を取り付ける事ができます！
少しお手間はかかりますが、ぜひこれらを参考にチャレンジしてみてください！